

# 防災レポート

## 令和6年度BCP合同訓練研修会（防災訓練）

令和6年11月6日（水）社会福祉法人直心会と合同防災訓練を実施しました。この訓練は、「災害時等における相互応援に関する基本協定」に基づき、BCP（事業継続計画）の訓練、研修を目的として行いました。当日は、特別養護老人ホーム望箭荘、特別養護老人ホーム望箭荘やまくに、特別養護老人ホームやすらぎ荘、養護老人ホーム中津市豊寿園の4施設がそれぞれ初動体制、避難行動、避難受入などに具体的に取り組みました。

【想定】 線状降水帯の発生の恐れがあることから、気象庁から注意喚起がなされ、今後、九州北部（中津市）に経験したことがないような大雨が降る予想。段階的に変化する警戒レベルを意識しながら、身を守る行動（業務）をとり、各施設が必要な対応を考え進める。

ライフライン：電気○ トイレ○ 水道○ 通信○ ガス×

**警戒レベル2**…雨が強まり山国川の水位が増し、氾濫水位情報が出される。

Mission① 避難を検討して市役所に連絡調整を行う。連絡は「停電対応電話」を使用する。

**警戒レベル3**…高齢者等避難が発令される。

Mission② 情報共有シートを作成する。

Mission③ 避難施設は、避難に向けた準備をする。（移動手段、持出品、スタッフ体制など）  
受入施設は、受入に向けた準備をする。（受付、避難スペース、スタッフ配置など）

**警戒レベル4**…避難指示が発令される。

Mission④ 大雨の影響により、停電となる。

各施設が養護老人ホーム中津市豊寿園に避難完了する。

Mission⑤ 要介護者を受け入れる。

（居室確保、食事支援、健康相談、排泄対応、衛生用品の確保など支援）

【まとめ】 今回の想定は、大雨・豪雨への対応を具体的に考え行動しました。刻々と変化する警戒レベルに施設として、入所者・職員の命を守り、安全を確保するための最善の体制を確保することが最も重要なことと再確認しました。また、可能であれば避難してくる方々への支援を積極的に受け入れることも重要であり、そのためにも法人間や施設間での連携は欠かせないことも再認識しました。

今後も様々な避難想定による訓練を重ね、有事に備えていきます。

【訓練の様子】



訓練の説明



市・他施設との連絡調整



受付



非常食の準備



避難者へのオリエンテーション



管理栄養士から食形態の確認



避難者への居室対応



医師とのリモート



レイアウト確認



お疲れさまでした。

【関係団体等】 ※今回の訓練にご支援・ご協力いただきました。

❖ NPO法人リエラ 代表理事 松永鎌矢氏（講師・アドバイザー）

❖ 中津市 ❖ 大分県社会福祉協議会

❖ 社会福祉法人直心会（特別養護老人ホーム望箭荘・特別養護老人ホーム望箭荘やまくに）

❖ 中津市社会福祉協議会（特別養護老人ホームやすらぎ荘・養護老人ホーム中津市豊寿園）